

「③本事業で希望する業務」を選んだ理由・選ばなかった理由

No.	事業者名	Q3 本事業で希望する業務を選んだ理由・選ばなかった理由	
		選んだ理由	選ばなかった理由
1		「②類似業務実績」のうち「同コンソーシアムの他社が実施」については、いずれも、他案件で同様の業務について実績を有する形でコンソーシアムを構築する方向という主旨です。県内あるいはこの案件で実績を有するという主旨ではありません。 「③本事業で希望する」「④③で希望する業務」の主旨はコンソーシアムとして実施したいということです 基本的な立ち位置は、全体を運用者（OあるいはM）視点で最適化するところにありますので、応札する際に構成するコンソーシアムとしては、全事業範囲に、広範に自由度高くかつ主体的に取り組む方向です。	
2		今回の実施範囲は、土建を含む水処理の再構築となっており、この水処理・汚泥設備に関しては、弊社の得意とするプラント機械・電気がメインになります。 これらの設備に関して最適な提案が行えると考え、上記の事業区分を希望します。	・土木建築はコンソーシアムの中で対応できると考えています。 ・OMに関しては、[redacted] やコンソーシアムの中で対応できると考えています。
3		[redacted] 汚泥処理の機械設備のベンダーを希望します。	[redacted] 今回対象となる沈砂池設備及び水処理設備のO及びMの実績がほぼ無いため。
4		全項目を希望すると回答させていただきました。 事業規模が大きいほど効率的に事業が実施出来ます。	
5		[redacted] 調査・設計を得意としているため。	[redacted] 調査・設計を得意としているため、建設・運転管理・保守点検については、直営での対応は難しいため。
6		規模が大きく、施工難易度が高いため、設計施工一括方式が望ましいと考えます。	OないしはMを含む発注方式の場合、競争性が低下する懸念があるため。現在の指定管理者様は、特定公共下水道である当該処理場の維持管理に長年携わっており、精通しています。現在の指定管理者様が参加される場合、同社を含むJVないしはSPCが有利になることが想定され、競争性が低下する懸念があります。
7		自社で取り組めると判断した業務を選定しました。 【注】詳細設計の対応は電気設備のみです。	自社で取り組み困難と判断した業務を選定しました。
8		[redacted]	
9		当社は機械建設及び維持管理に実績を持つ会社であり、その分野で力を発揮できると考えているため。	土木・建築分野はJVパートナーに頼らざるを得ないところが有、また、電気については中央監視などの兼ね合いが有、対応が難しくなる（またはコストメリットが見いだせない）可能性がある。
10		全国のPPP事業において、[redacted] 実績を持っており、貴県の事業に活かせると思うため。	
11		当社は下水処理場の機械設備工事において数多くの経験を有しており、貴処理場の水処理・汚泥処理・場内配管においても施工実績があります。貴処理場の条件を理解したうえで創意工夫を図れると考えているため。	設計(D)：埋設物調査やスクラップビルドによる仮設計画が困難であると想定されるため 建設(B)土木、建築：既設構造物の劣化、埋設物への干渉等のリスクが多数想定されるため 運転管理(O)：人員確保が困難なため 保守点検(M)：人員確保が困難なため
12		設計(D)については、調査等への参画により、これまでの維持管理情報等を設計等に活用し、運転管理(O)や保守点検(M)等の継続については、これまでの実績を踏まえて業務の安定化を図るとともに、他の業務にも反映させて、本事業の効率化に貢献したいと思います。	
13			日常の運転管理、保守点検業務は弊社の範疇ではないため 従来通りの調査の受託であれば対応させていただきます
14			
15		鹿島下水道事務所発注の工事における工事実績があるため。わが社でできる工事においては、参加したい。	下水道事務所の工事において、運転管理、保守点検等は、わが社の業務とことなるため
16		弊社の主要な営業業種であり、本事業に最適な提案が可能と判断したため。 設計、電気については、次項でDB方式を選択したため。	上記以外の業種と判断したため。
17		当社は機械設備工事を主とした企業であるため、土木・建築・機械・電気の一括更新事業となった場合に、他社とコンソーシアムを組成し、参画することを想定しております。本施設特有の特徴を有する特定公共下水道ということからも、既存設備の運転ノウハウ・修繕頻度などは、貴県および既存の維持管理企業がお持ちかと思しますので、修繕を含めた維持管理業務に関しては、別途事業として実施いただくことを推奨いたします。	
18		施工実績があるため	実績がなく今後も対応ができなそうのため
19		機械設備工事業を営んでおり、ポンプ設備の設計製作据付を主な業務としているため	
20		弊社が対応できる範囲（電気設備）であり、その他範囲については、構成員所掌を想定しております。 尚、弊社単体ではなくJVとしての回答が必要な場合は、以下を希望します。 →設計（調査・詳細設計）、建設（機械・電気）、保守点検（保守点検・小規模修繕）	弊社が対応できない（知見を有していない）範囲については、上記の通り（構成員所掌）です。 JVとしての回答が必要な場合は、建設（土木・建築）を選択しておりません。この理由については、事業リスクへの影響範囲が大きいものと理解しており、選択をしませんでした。
21		現時点では、弊社機械設備の機器設計製作を業務範囲として、協力企業以下の立場で想定しています。 尚、実際に対応可能ななどは、流入水質が一般の下水道と違うため、検討が必要となります。	設計や土木、建築、電気設備、維持管理等は業務範囲外のため。
22		DB範囲は、当社として多数の実績があるため、民間のノウハウを活かせると思うようになります。	処理能力が大きい施設のため、運転管理(保守点検)を実施出来る民間事業者に限られるかと存じます。当社としては対応出来る事業者との組成が必要のため、組成出来ないリスクの観点で対象外として頂きたいお願い致します。
23		弊社が主たる業務として行っているのが「建設」に関わるものであり、参画しているPFI事業において実績としても提案できる業務であることから、建設の土木・建築を選定いたしました。	

No ピンク：Q2 で本事業への参加意向あり

d) 事業方式への意見

Q4. 本事業の範囲は下記〔1：DB方式、2：DBO方式(M含む)、3：DBO方式(M含まない)、4：DBM方式〕のいずれかのケースを想定しています。貴社が希望するケースに「」を記入し、その理由を②の欄に記入してください。また、各ケースを実施する場合の本事業に対するメリット・デメリットを想定可能な場合はご記入願います（希望ケース以外も記載して頂いて構いません。市・民間事業者・下水道利用者のいずれの視点でも構いません）。

Q4の回答結果を以降に示す。

最も希望が多かったのはケース1：DB方式であり、理由としては以下が挙げられた。

- 本事業は供用しながらの更新であるため技術的難易度・事業リスクが高い
- 設計と施工を一体化することで不確実性（条件変更・工程制約）への対応力が高い、工期短縮・確実な更新が可能
- 運転・維持管理（O&M）を含めるとリスクが過大になる恐れ

一方、O、Mを含むケース2～4については、否定的または条件付きの意見が多く見られ、主な懸念点は以下である。

- 長期リスク（物価変動・人件費上昇）の吸収が困難
- 特定公共下水道という特殊性によるリスク算定の困難さ
- 既存O&M事業者と組める企業が有利になり、競争性低下
- 対応可能な民間事業者が限られる

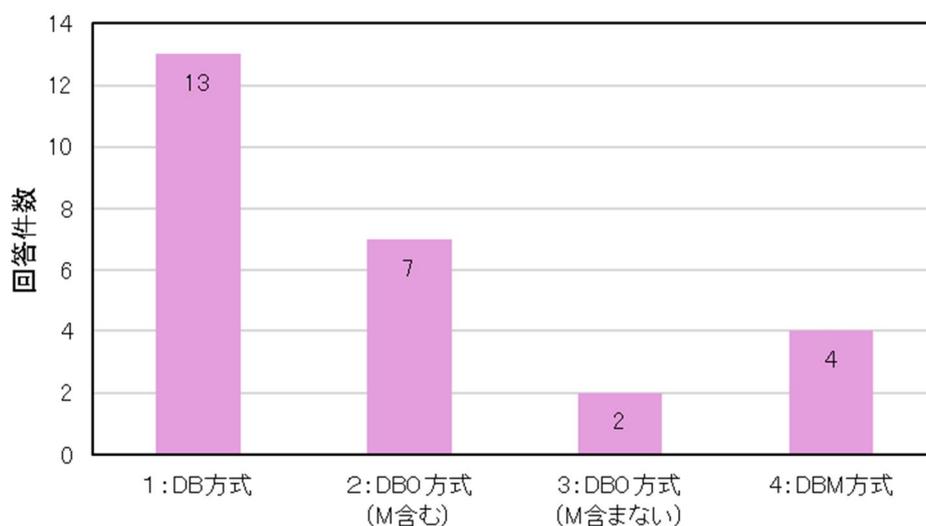


図 1-6 Q4 希望する事業方式

企業から挙げられた各ケースのメリット・デメリットの概要を表 1-1に示す。

表 1-8 Q4 事業方式メリット・デメリット

ケース	業務範囲	主なメリット	主なデメリット・留意点
ケース 1 DB 方式	設計＋建設	<ul style="list-style-type: none"> ・設計と施工の一体化により調整が円滑 ・施工ノウハウを設計に反映でき、コスト縮減・工期短縮が期待できる ・スクラップ&ビルド等の大規模更新に適する ・<u>本事業の「高難易度・長期更新」に適合性が高い</u> ・<u>既存の運転・維持管理体制を継続可能</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・O&M 視点が設計に十分反映されない恐れ ・設計の透明性・品質管理が難しくなる可能性 ・自治体意向を細部設計に反映しにくい ・更新後は別途 O&M 契約が必要で、責任分界が複雑
ケース 2 DBOM 方式	設計＋建設 ＋運転＋保守点検	<ul style="list-style-type: none"> ・業務範囲が最も広く、LCC 最適化が期待できる ・設計・施工・運営を通じた一体最適化 ・AI 等新技術導入を含めた高度提案が可能 ・発注者の契約・調整負担を軽減 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業規模が大きく、SPC 組成に時間・資本が必要 ・モニタリング負荷が高く、発注者側の管理能力が必要 ・既存 O&M 事業者が圧倒的に有利になる可能性 ・<u>水質の特異性があり、これまでの運転ノウハウを持たない場合、リスクコストが過大になる恐れがる</u>
ケース 3 DBO 方式	設計＋建設 ＋運転	<ul style="list-style-type: none"> ・設計から運転まで一体管理が可能 ・運転を見据えた合理的な施設設計が可能 ・責任の一元化（性能・水質等）・更新後の立上げが円滑 	<ul style="list-style-type: none"> ・15～20 年程度の長期契約となり柔軟性が低下 ・将来の需要変化への対応が困難 ・既存 O&M 事業者が有利になりやすい ・競争性低下の懸念
ケース 4 DBM 方式	設計＋建設 ＋保守点検	<ul style="list-style-type: none"> ・保守点検の知見を設計・施工に反映可能 ・LCC 低減、維持管理性向上が期待できる ・責任範囲が DB より明確 	<ul style="list-style-type: none"> ・運転 (O) が含まれないため、実運転ノウハウの反映は限定的 ・O&M 一体方式と比べると効率性に劣る可能性 ・維持管理事業者との役割整理が必要

表 1-9 Q4 希望する事業方式、メリットデメリット (個票) (1/3)

		回答No.01			回答No.02			回答No.03		
ケース	内容 (深芝T:深芝処理場)	①回答を記入			①回答を記入			①回答を記入		
		希望	メリット	デメリット	希望	メリット	デメリット	希望	メリット	デメリット
1:DB方式	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T)	<input type="checkbox"/>	各DBOMプレイヤーにとっては慣れている	O・Mの視点がDBに十分に反映されない可能性。 O・Mが必要とするDBが実施されない可能性。	<input checked="" type="checkbox"/>	設計と建設の調整がスムーズになり、並行して作業を進めやすいと考えます。また、コスト削減の観点でも施工側の意見を設計に反映でき、無駄を省くことが可能です。	設計の細部に自治体の意向を反映させにくくなる。	<input checked="" type="checkbox"/>		
2:DBO方式 (M含む)	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・O運転管理(深芝T) M保守点検(深芝T)	<input checked="" type="checkbox"/>	各DBOMプレイヤーにとっては慣れている	DB側が早期にリスクを遮断できない	<input checked="" type="checkbox"/>	設計・建設から運営までを一括発注することで、将来の維持管理を見据えた効率的な設計が可能となり、トータルコストの抑制が期待できます。	通常15~20年にわたる長期契約となるため、将来の人口減少や社会ニーズの変化に合わせて、施設の使用変更やサービス内容の修正を柔軟に行うことが難しくなるリスクがあると考えます。	<input type="checkbox"/>		
3:DBO方式 (M含まない)	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・O運転管理(深芝T)	<input type="checkbox"/>	各DBOプレイヤーにとっては慣れている	Mの視点がDBに十分に反映されない可能性。 Mが必要とするDBが実施されない可能性。	<input checked="" type="checkbox"/>	設計・建設から運営までを一括発注することで、将来の維持管理を見据えた効率的な設計が可能となり、トータルコストの抑制が期待できます。	通常15~20年にわたる長期契約となるため、将来の人口減少や社会ニーズの変化に合わせて、施設の使用変更やサービス内容の修正を柔軟に行うことが難しくなるリスクがあると考えます。	<input type="checkbox"/>		
4:DBM方式	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・M保守点検	<input type="checkbox"/>	各DBMプレイヤーにとっては慣れている	Oの視点がDBに十分に反映されない可能性。 Oが必要とするDBが実施されない可能性。	<input checked="" type="checkbox"/>	設計・建設段階から将来のメンテナンスを担う事業者が関与することで、耐久性の高い部材の選定や点検のしやすい設計が促進され、長期的な財政負担の軽減が期待できます。	運転・維持管理上の要求水準未達が発生した際、帰責事由が運転・維持管理側(O側)、設計・建設(DB)側または修繕側(M側)どちらにあるか、の立証することが難しい場合があります。	<input type="checkbox"/>		
		回答No.04			回答No.05			回答No.06		
ケース	内容 (深芝T:深芝処理場)	①回答を記入			①回答を記入			①回答を記入		
		希望	メリット	デメリット	希望	メリット	デメリット	希望	メリット	デメリット
1:DB方式	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T)	<input type="checkbox"/>			<input checked="" type="checkbox"/>	スモールスタートで、様子を見ることが可能。		<input checked="" type="checkbox"/>	施工者のノウハウを設計に反映させられるため、コスト削減、全体工期短縮効果の期待が高い。	
2:DBO方式 (M含む)	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・O運転管理(深芝T) M保守点検(深芝T)	<input checked="" type="checkbox"/>	維持管理の気づきを設計と施工に反映した事業が実施可能である。	コンソーシアムの設立に課題がある。	<input checked="" type="checkbox"/>	設計・施工・運転管理のトータル事業を行う事で、事務手続きや工期短縮、スケジュール管理が行いやすくなる。	モニタリングが重要となり、事業を左右する。事業規模が大きくなりすぎる。	<input type="checkbox"/>		競争性の低下
3:DBO方式 (M含まない)	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・O運転管理(深芝T)	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		競争性の低下
4:DBM方式	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・M保守点検	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		競争性の低下
		回答No.07			回答No.08			回答No.09		
ケース	内容 (深芝T:深芝処理場)	①回答を記入			①回答を記入			①回答を記入		
		希望	メリット	デメリット	希望	メリット	デメリット	希望	メリット	デメリット
1:DB方式	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T)	<input checked="" type="checkbox"/>	運営者の変更がある場合、これに伴い運営練度の低下を避けられることから、DB業務の難易度が高い本件においてはDBのみの発注はメリットと考えます。	本件は更新期間が長期にわたりますが、DB業務を一括発注する場合、設計変更の柔軟性確保や物価上昇の反映等の点につき懸念がございます。	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	既設のO&M会社に頼らず、提案が出来ることで応札する会社が増える可能性があります。	O&Mを度外視した提案とならないよう評価項目等で規定する必要があるが、不具合が出た場合、責任所掌の決定が難しいと思います。
2:DBO方式 (M含む)	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・O運転管理(深芝T) M保守点検(深芝T)	<input type="checkbox"/>	提示されたケースの中では民間事業者の業務範囲が最も広く、一般的には一体的事業運営による効率化が見込まれると考えます。	ケース1と同様。 また、運転管理業者の変更がある場合、これに伴い運営練度の低下が発生し、DB業務に影響が発生する可能性があると考えています。また、特定公共下水道のため、水質管理等も難しいためOは対象外としく存じます。	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	オペレーションとメンテナンスを長期間提案者に担保させることで、LCCの良い装置が期待できる。また、AIなどの最新機器の導入も促進されます。	汚泥系維持管理との連携、責任分担に一部、リスクが残る、効率性が落ちることが想定される。既設O&M会社と組んだ会社が圧倒的に優位と考えます。
3:DBO方式 (M含まない)	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・O運転管理(深芝T)	<input type="checkbox"/>	維持管理業務を含まないもの一般的には一体的事業運営による効率化が見込まれると考えます。	ケース1と同様。 また、運転管理業者の変更がある場合、これに伴い運営練度の低下が発生し、DB業務に影響が発生する可能性があると考えています。また、特定公共下水道のため、水質管理等も難しいためOは対象外としく存じます。	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	オペレーションを考慮した設備提案が期待でき、AIなど人材不足を補う提案が期待できます。	メンテの発注手間が官側に残り、入札不調等のリスクが大きい。また、特殊な機器が入っていれば、メンテ費が高額になる傾向が予想されます。
4:DBM方式	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・M保守点検	<input type="checkbox"/>	運転管理業務を含まないもの一般的には一体的事業運営による効率化が見込まれると考えます。	DB事業の複雑化が想定されるため、維持管理業務も業務難易度が高いと推察します。運転業者の変更がある場合、これに伴い運営練度の低下が発生し、DB業務に影響が発生する可能性があると考えています。	<input type="checkbox"/>			<input checked="" type="checkbox"/>	メンテナンス費を担保させることで、LCC低減に寄与するとともに、既設オペレーション企業の優位性が崩れ、参加会社が多くなると想定されます。	運転管理と建設・メンテ会社が違うことで、装置不具合の場合の責任分担等で揉めるケースが考えられます。

No ピンク : Q2 で本事業への参加意向あり

表 1-10 Q4 希望する事業方式、メリットデメリット (個票) (2/3)

		回答No.10 [REDACTED]			回答No.11 [REDACTED]			回答No.12 [REDACTED]		
ケース	内容 (深芝T:深芝処理場)	①回答を記入			①回答を記入			①回答を記入		
		希望	メリット	デメリット	希望	メリット	デメリット	希望	メリット	デメリット
1:DB方式	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T)	<input checked="" type="checkbox"/>			<input checked="" type="checkbox"/>	設計と施工の一貫性が高く建設が可能。運転・維持管理は従来の運営体制を活かせる。	再構築後の保証が施工完了時点までとなる。別途、包括委託が必要であり、契約を跨いだ事業者間での調整が必要。	<input type="checkbox"/>		
2:DBO方式 (M含む)	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・O運転管理(深芝T) M保守点検(深芝T)	<input checked="" type="checkbox"/>	更新から維持管理までを一体的に管理することが可能であり、効率的な運営が可能になる。		<input type="checkbox"/>	再構築～供用後の一貫した運営が可能(経済性、維持管理性)。責任の明確化(運転性能、処理水質)。保守点検の知見を活かせる。	事業者側の人員確保が困難。統括管理者等の資格要件によっては技術者が長期間拘束される。	<input checked="" type="checkbox"/>	維持管理情報等を再構築計画に反映させ、全体的に事業の効率化が図れる。	
3:DBO方式 (M含まない)	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・O運転管理(深芝T)	<input checked="" type="checkbox"/>	更新から維持管理までを一体的に管理することが可能であり、効率的な運営が可能になる。		<input type="checkbox"/>	再構築から供用後の一貫した運営が可能。責任の明確化(運転性能、処理水質)。	事業者側の人員確保が困難。保守点検との業務区分が曖昧。	<input type="checkbox"/>		
4:DBM方式	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・M保守点検	<input checked="" type="checkbox"/>		建設と運転管理が別になる為、建設側の施設を熟知した効率的な運転管理ができなくなる。	<input type="checkbox"/>	再構築～供用後の一貫した運営が可能(経済性、維持管理性)。	運転管理と保守点検が分離し業務区分が曖昧。	<input type="checkbox"/>		
		回答No.13 [REDACTED]			回答No.14 [REDACTED]			回答No.15 [REDACTED]		
ケース	内容 (深芝T:深芝処理場)	①回答を記入			①回答を記入			①回答を記入		
		希望	メリット	デメリット	希望	メリット	デメリット	希望	メリット	デメリット
1:DB方式	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T)	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>			<input checked="" type="checkbox"/>	工事において円滑に施工できると思う。	どの工事においても予期せぬことがおこるので、その対応が、円滑にできるのかと思う。
2:DBO方式 (M含む)	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・O運転管理(深芝T) M保守点検(深芝T)	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		
3:DBO方式 (M含まない)	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・O運転管理(深芝T)	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		
4:DBM方式	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・M保守点検	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		
		回答No.16 [REDACTED]			回答No.17 [REDACTED]			回答No.18 [REDACTED]		
ケース	内容 (深芝T:深芝処理場)	①回答を記入			①回答を記入			①回答を記入		
		希望	メリット	デメリット	希望	メリット	デメリット	希望	メリット	デメリット
1:DB方式	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T)	<input checked="" type="checkbox"/>	・工期短縮 ・コスト最適化 ・設計変更、トラブル対応が迅速 ・技術提案、創意工夫を活かしやすい	・設計の透明性が低くなりやすく、品質管理が難しくなる可能性がある	<input checked="" type="checkbox"/>	・運転ノウハウをお持ちの貴県がOP・Mを実施されることで維持管理・修繕コスト適正化が可能	・維持管理企業にとって、運転実績の少ない処理方式が建設された場合に、運転方法の習得に時間を要する。	<input type="checkbox"/>		
2:DBO方式 (M含む)	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・O運転管理(深芝T) M保守点検(深芝T)	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	・DBMOすべてを民間事業者が実施することで、発注の手間を削減可能。	・既存の維持管理企業が優位となり、公平性に欠ける事業となる。 ・民間事業者が運転ノウハウを持っていないため、リスク分のコストが増加する可能性がある。	<input type="checkbox"/>		
3:DBO方式 (M含まない)	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・O運転管理(深芝T)	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	・DBOを民間事業者が実施することで、発注の手間を削減可能。	・既存の維持管理企業が優位となり、公平性に欠ける事業となる ・民間事業者が既存施設の修繕情報や運転ノウハウを持っていないため、リスク分のコストが増加する可能性がある。	<input type="checkbox"/>		
4:DBM方式	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・M保守点検	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	・DBMを民間事業者が実施することで、発注の手間を削減可能。	・MとOPの責任分界点の明確化が困難 ・民間事業者が既存施設の修繕情報を持っていないため、リスク分のコストが増加する可能性がある。	<input type="checkbox"/>		

社名ピンク:Q2で本事業への参加意向あり

表 1-11 Q4 希望する事業方式、メリットデメリット（個票）（3/3）

ケース	内容 (深芝T：深芝処理場)	回答No.19		回答No.20			回答No.21			
		①回答を記入			①回答を記入			①回答を記入		
		希望	メリット	デメリット	希望	メリット	デメリット	希望	メリット	デメリット
1：DB方式	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T)	<input checked="" type="checkbox"/>	ポンプ設備に限り、設計製作は可能	電気設備やその他設備に関する対応は不可	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	スクラップアンドビルドを行う上で、土建機電が一体となって進めやすい	・維持管理業者との連携が取り難い
2：DBO方式 (M含む)	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・O運転管理(深芝T) M保守点検(深芝T)	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	スクラップアンドビルドを行う上で、土建機電と維持管理が一体となって進めやすい	現状の維持管理業社が優位になりやすい。
3：DBO方式 (M含まない)	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・O運転管理(深芝T)	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	スクラップアンドビルドを行う上で、土建機電と維持管理が一体となって進めやすい	現状の維持管理業社が優位になりやすい。
4：DBM方式	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・M保守点検	<input type="checkbox"/>			<input checked="" type="checkbox"/>	弊社で対応が可能な電気設備改築の他、保守点検等でのDXソリューションのご提供が可能となる	運用を理解した設備改築やシステム操作が必要とされ、既存業者に比べ、既参入業者以外はコスト増となる	<input type="checkbox"/>	スクラップアンドビルドを行う上で、土建機電と維持管理が一体となって進めやすい	現状の維持管理業社が優位になりやすい。
ケース	内容 (深芝T：深芝処理場)	回答No.22			回答No.23					
		①回答を記入			①回答を記入					
		希望	メリット	デメリット	希望	メリット	デメリット			
1：DB方式	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T)	<input checked="" type="checkbox"/>			<input checked="" type="checkbox"/>	性能発注で必要施設を準備できる。	施設の性能上、設計した施設メーカーが維持業務を行う必要があるため、別途契約が必要になる可能性。			
2：DBO方式 (M含む)	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・O運転管理(深芝T) M保守点検(深芝T)	<input type="checkbox"/>			<input checked="" type="checkbox"/>	事業者が必要な業務を一体的に実施することができ、シームレスな業務移行が可能。	事業規模が大きくなるため、SPCなど組織を組上げるのに時間・資本が必要。			
3：DBO方式 (M含まない)	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・O運転管理(深芝T)	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>					
4：DBM方式	・D設計(深芝T)、B建設(深芝T) ・M保守点検	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>					

No ピンク：Q2 で本事業への参加意向あり

希望するケースを選んだ理由・選ばなかった理由を記入

No.	事業者名	Q4 希望するケースを選んだ理由・選ばなかった理由	
		選んだ理由	選ばなかった理由
1		修繕・回収・実機実証等を要する事業では、事業期間を通じて、DBOM全プレイヤーが事業にコミットし続ける事業スキームが望ましいのではないかと。	DBプレイヤーが全期間に渡ってはコミットせずに済んでしまう。
2		EPCとOM(U)を分離せず、事業者が設備の建設・維持管理を行うことにより、最適な運営が行えると考えますが、特定公共下水道設備においての実績がなく、OMを含む事業となる場合は対話の機会をいただきたいと考えます。	
3		弊社は脱水機等の汚泥処理設備の専門メーカーの為、汚泥処理の機械設備のベンダーを希望します。	弊社は脱水機等の汚泥処理設備の専門メーカーの為、今回対象となる沈砂池設備及び水処理設備のO及びMの実績がほぼ無いため。
4		建設と運転管理を一体に行うことで長期間に渡り効率的な事業運営が可能となる。	1はウォーターPPPではないから。 3,4は効率的な運営がしづらいため。
5		茨城県内において実施ケースが少ないため、スモールスタートで事業を進め様子を見て、次回の事業から運転管理、保守点検も含めた事業内容を拡大し、事業全体の工事品質の向上や民間ノウハウ活用によるコスト削減、そこに運転管理、保守点検を加えることで持続可能な事業体になると考える。	
6		施工者のノウハウを設計に反映させられるため、コスト縮減、全体工期短縮効果の期待が高い。	OないしはMを含む発注方式の場合、競争性が低下する懸念があるため。
7		本件は、供用しつつの随時更新となることからDB業務の難易度が高く、また更新業務が長期にわたることから事業リスクも高いと認識しています。よって、確実な更新実施を目的に業務範囲をDBに絞るケースを選択いたしました。	長期かつ複雑なDB業務となる事が想定されるため、事業範囲がDB+OMとなる場合は事業リスクが高くなると判断しました。従来の安定した運転・維持管理体制のもと、確実に更新業務を実施させていただきたく存じます。
8			風力発電設備が項目になかった為
9		今回の事業範囲が水処理のみとなっており、汚泥系とオペレーションが分離されることはなるべく避けたいと考え、DBMが今回の事業範囲では最善であると考え。	オペレーションを入れることで、既存汚泥系O&M会社と組んだ会社が圧倒的に優位になるため、オペレーションを入れることは避けた方が良いと考える。
10		概ね、全てのケースに関して対応が可能と考えるが、2, 3は特に、グループ会社を含めた弊社の強み：維持管理業務（運転管理、保守点検）を最大限に活かせる事業方式であると考え。	
11		事業範囲が比較的シンプルであり、設計と施工の整合性の高い再構築が可能のため。運転・維持管理については従来の運営体制を活かすことができるため。	2～4については人員確保が困難な点と、事業範囲が広く長期間になり物価変動や人件費上昇等への対応が懸念されるため。
12		それらに実績等を再構築事業全体に反映させたい。	
13			業務範囲ではないため
14			
15		工事を施工するという事で、DB方式を選びました。	わが社は土木工事のため、保守点検、運転管理等には、該当しないため、選びませんでした。
16		本事業は狭隘な用地において処理能力を維持した形で稼働しながら実施していく必要がある難易度の高い事業と認識しており、その対策としてDB方式を採用することで、①技術的課題を設計段階から解決できる、②工事中の条件変更など不確実性への対応力が高い、③工期制限に適応しやすい、などの理由から選択。	長期間の運営を前提とすることから、リスクが複雑化、多様化する傾向にあるため。
17		MやOPが含まれた場合、本施設は一般的な下水道施設とは特徴が異なるため、MおよびOPに係る費用算出にあたり、リスクを高く見込むことになり、高い落札率もしくは、不調になる可能性があるため、DB方式を推奨いたします。	本施設特有の特徴を有する特定公共下水道ということからも、既存設備の運転ノウハウ・修繕頻度などは、貴県および既存の維持管理企業がお持ちかと思っておりますので、修繕を含めた維持管理業務に関しては、別途事業として実施いただくことを推奨いたします。
18			設計業務ができない
19			
20		設備の単純更新だけでなく、保全点検効率化に資するDXソリューションの提供が可能であるため	ケース1：DXソリューションの提案範囲が狭まるため。 ケース2,3：自社での対応が困難な範囲が大きくなり、リスクが高まるため。
21			従来方式での事業を推奨いたします。その他の場合機械設備の下請け機械メーカーとして参画を検討予定です。
22		DB範囲は、当社として多数の実績があるため、民間のノウハウを活かせるためになります。	処理能力が大きい施設のため、運転管理(保守点検)を実施出来る民間事業者に限られるかと存じます。当社としては対応出来る事業者との組成が必要のため、組成出来ないリスクの観点で対象外として頂きたくお願い致します。
23		弊社の参画範囲として施設の建設工事に関わる範囲を希望したいところと、一体的な事業発注で考えるのであればDB方式以上で設備メーカー含めた維持管理を想定した設計が理想かと考えます。	

No ピンク：Q2 で本事業への参加意向あり

ケース2・4のいずれかを希望した場合は、OとMで希望する業務に「☑」を記入し、その理由も記入

業務範囲にO（運転）もしくはM（保守）を含むケースを希望した企業に関して、希望細目の回答を以降に示す。

O（運転）もしくはM（保守）を希望する理由としては、O（運転）については、全事業範囲を対象とすることで全体最適や効率化、省人化、民間事業者の創意工夫の発揮が可能となる点を評価する意見が多く見られ、提案している企業は大手のプラントメーカーが多い。

一方、M（保守）については、自社が納入または熟知している設備・業務範囲に限定した対応を希望する意見や、点検・修繕の確実性、DX活用による保全高度化を重視する意見があり、中小企業も含め確認された。

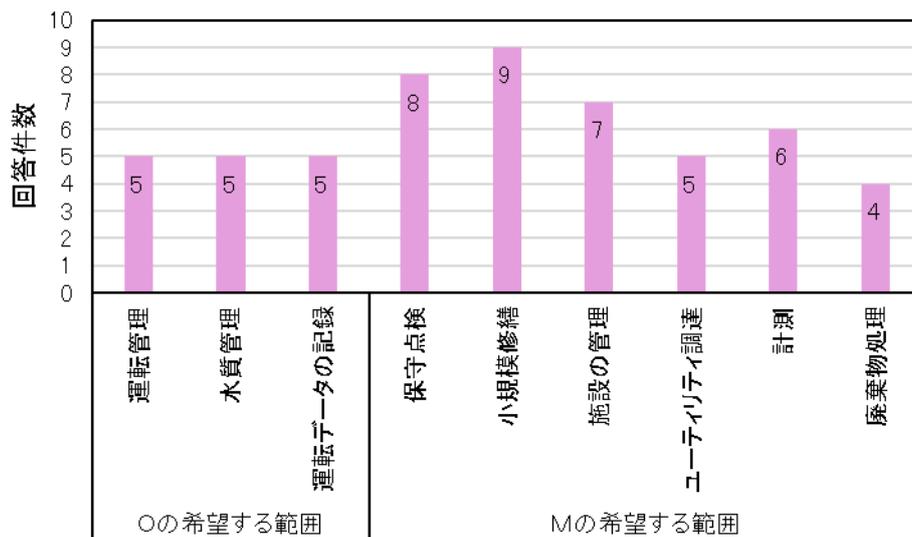


図 1-7 OもしくはMで希望する業務

表 1-8 OもしくはMで希望する業務

		回答No.01	回答No.02	回答No.03	回答No.04	回答No.05	回答No.06	回答No.07	回答No.08	回答No.09	回答No.10	回答No.11	回答No.12
Oの範囲	運転管理	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	水質管理	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	運転データの記録	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Mの範囲	保守点検	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	小規模修繕	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	施設の管理	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ユーティリティ調達	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	計測	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	廃棄物処理	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		回答No.13	回答No.14	回答No.15	回答No.16	回答No.17	回答No.18	回答No.19	回答No.20	回答No.21	回答No.22	回答No.23	
Oの範囲	運転管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	水質管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	運転データの記録	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Mの範囲	保守点検	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	小規模修繕	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	施設の管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ユーティリティ調達	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	計測	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	廃棄物処理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

表 1-9 OもしくはMを希望する理由（個票）

No.	事業者名	その理由	
		O希望	M希望
1		全事業範囲の最適化のため	全事業範囲の最適化のため
2		IoT等の活用により、運転管理において効率化・省人化が行えると考えます。	再構築事業において納入した範囲のみの対応を希望します。 それが以外を含めた場合においては、現時点の開示情報においては判断できかねるため対象範囲外としています。
3			
4		民間の創意工夫を最大限に発揮したOが可能である。	民間の創意工夫を最大限に発揮したMが可能である
5			
6			
7			
8			
9			小規模修繕だけでなく、大規模修繕も検討いただきたいと思います（新設設備）。エスカレ清算が毎年出来ることを望みます。
10		建設した施設を熟知した効率的な運営をするための業務において必要であるとするため。	建設した施設を熟知した適切な点検・修繕により効率的な管理が可能であるとするため。
11			
12		継続して同業務を行い、これまでの維持管理実績を活かして、業務の効率化等を図る。	継続して同業務を行い、これまでの維持管理実績を活かして、業務の効率化等を図る。
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			維持管理保全点検に資する弊社のDXソリューションをシステム利用の構成員に対して（或はJV内にて）提供する。
21			
22			
23			PFI事業者として実施するのであれば、一体的に実施できる業務形態が理想。

No ピンク：Q2で本事業への参加意向あり

Q5. 本事業の事業スキームとして PFI 方式を希望するか否かについて理由と共にご回答ください。

Q5 の回答結果を以降に示す。多くの企業は、SPC 設立に伴う初期投資や資金調達コスト、金融機関への利払い、長期的な財務・運営リスク、参入難などを懸念し、DB 方式や DBO (M) 方式が望ましいとの回答であった。

一方、PFI 方式については、設計・施工・運営・維持管理を一体的に実施することによる民間の創意工夫の発揮、ライフサイクルコストの最適化、事業期間を通じた責任の一元化を理由に、事業範囲に O や M も希望している企業が選択している。PFI を希望する 2 社は BD/DBO/DBM も選択している。

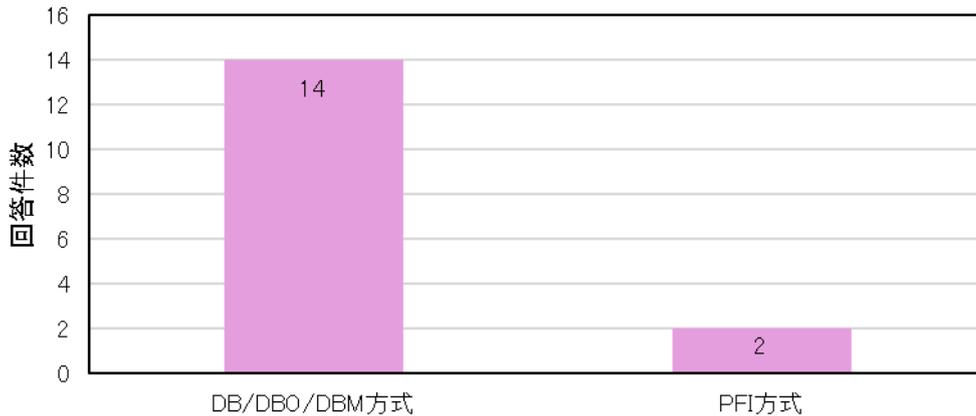


図 1-8 Q5 PFI 方式を希望するか否か

表 1-10 Q5 PFI 方式を希望するか否か

シート名	会社名	DB/DBO/DBM方式	PFI方式
回答No.01		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
回答No.02		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
回答No.03		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
回答No.04		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
回答No.05		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
回答No.06		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
回答No.07		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
回答No.08		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
回答No.09		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
回答No.10		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
回答No.11		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
回答No.12		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
回答No.13		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
回答No.14		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
回答No.15		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
回答No.16		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
回答No.17		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
回答No.18		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
回答No.19		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
回答No.20		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
回答No.21		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
回答No.22		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
回答No.23		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

No ピンク : Q2 で本事業への参加意向あり

表 1-11 Q5 PFI方式を希望するか否かの理由

No.	事業者名	Q5 本事業の事業スキームとしてPFI方式を希望するか否かについて理由
1		<p>○詳細なプロジェクト内容とプロジェクトスケジュールによる。</p> <p>○一般的には、DBは事業の早期に実施されるため、DBプレイヤーは早期に業務を終え、対応してキャッシュインがなされ、現地体制をほどこき事業期間を通じたコミットをせずに済んでしまいがち。これによりOの期間における施設全体の不具合リスク・使用しにくいリスク等の不便さはO（一部だけM）プレイヤーだけが被る構図になりやすい。</p> <p>○事業の内容と難易度あるいはスケジュールにおいて、O（あるいはM）とDBが事業期間を通じてタイアップし続けることが望ましい場合には、（Oは最後まで業務を実施するが）（早期に実質的には離脱可能な）DBを縛り続ける契約が必要。</p> <p>○上記の区分をする場合、PFI方式でも均等分割払いとせずに、一部は出来高払いを併用することも考えられるのではないかと。</p>
2		<p>設計・施工・運転管理全体を通じた民間の創意工夫の余地が期待できるためです。当社は複数のPFI事業の実績を有しており、資金調達を伴う事業にも対応が可能です。</p>
3		
4		<p>PFI法に基づく特定事業として実施していただくようお願いいたします。</p>
5		<p>SPCの設立において、初期投資などの懸念事項はあるが、事業実施においては円滑に進むと思われる。</p> <p>また、モニタリングにおいても、履行確認等SPCの方が行いやすいと思われる。</p>
6		<p>当社としては今回DB方式で、O&Mを含まない業務範囲を希望しております。この場合、JVが効率的と考えます。</p> <p>なおO&Mを含む場合は、比較的長期契約になるため、設計・施工・運営を一括で担い、ライフサイクルコストの最適化が可能になるPFI方式が望ましいと考えます。また運営リスクや性能保証をSPCに包括的に移転することが期待できます。</p>
7		<p>PFI方式となる場合、SPCが資金を調達する際に金融機関への利払いが発生し、事業費が増加すると考えます。加えて、融資組成や事業期間中の財務管理においてもコストが発生することから、SPCの資本金とサービス対価で事業を遂行可能な資金スキームとしていただきたく存じます。</p>
8		
9		<p>PFI方式にすると民間側の資金調達、SPCに係る費用など負担が大きいと考えます。</p>
10		<p>・資金の調達リスクを考えると、SPCよりもJVでの参画の方がベターと考えます。</p>
11		<p>PFI方式は下記の懸念点があるのでDB・DBO(M)方式を希望しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施のための人材の確保が必要 ・民間事業者間でグループ企業を構成するのが困難 ・リスク分担が不公平になる懸念 ・契約後の物価変動や人件費上昇などへの対応 ・SPC設立に伴う労力やコストの負担が大きく、関連費用が十分に確保されるかどうか懸念がある ・PFI法を参考にしたDB方式を採用し、VFMを算出している事例もある ・PFI方式とすることで発注者側の負担も想定される
12		<p>再構築事業には、維持管理実績や課題等の維持管理情報を反映させることが重要となるので、共同企業体(JV)の組成により設計、建設、運転管理、保守点検が協同して一体的に当たる。なお、弊社は他の下水道において、処理場等の設計及び建設の実績は、特にありません。</p>
13		
14		
15		<p>DB方式またはDBO方式またはDBM方式で、JV（共同企業体）の構成員としての参画を希望する。</p>
16		<p>PFI方式では、初期コスト・リスク負担が大きい、長期リスクの予測困難などの理由からDB方式を選択</p>
17		<p>・PFI方式に関しては、SPC設立に係る費用（資本金や運営費など）を見込む必要があり、事業費が高くなる傾向にあり、推奨いたしません。</p>
18		
19		<p>現時点では不明</p>
20		<p>本事業で弊社対象となるプラント電気設備の更新は、国の補助金（4条予算）の適用が前提となるケースが多く、公設民営のDB/DBM方式では、補助金制度と整合的な資金スキームを構築できます。補助金未適用による事業費増加リスクが民間側に波及しにくく、事業の安定性が高いと考えています。</p>
21		<p>現状未定のため、未回答とさせていただきます。</p>
22		<p>・当社はSPC設立の実績があり、対応可能になりますが、SPC設立(出資)が参入障壁になる事業者や地元企業も存在するため、DB方式が望ましいと考えます。</p>
23		<p>業務の責任範囲が明確であることと、受注組織の肥大化を避け業態の実施しやすさを主に選択しました。</p>

No ピンク：Q2 で本事業への参加意向あり

Q6. 深芝処理場再構築 D・B 事業と、維持管理業務 O・M 事業以外の付帯事業の提案が想定される場合は、その内容をご記載ください（処理場以外の維持管理業務も含む）。また、付帯事業の導入検討に必要な条件を合わせて記入してください。

Q6 の回答を以降に示す。

D・B 事業及び O・M 事業以外の付帯事業については、多くの事業者が「想定していない」「不明」であった。一部企業から提案された付帯事業としては以下が挙げられる。

- ・ 災害時・緊急時対応、住民クレーム対応
- ・ 再構築対象外（B 系水処理、汚泥、MP、各ポンプ場、風力、管路）施設も含めた管理
- ・ 創エネルギー：ダウンサイジング導入に伴う太陽光発電（PPA）、消化設備導入、地域バイオマス受け入れ
- ・ 特殊水質分析業務
- ・ 下水利用事業者への水質管理業務

表 1-12 Q6 再構築D・B事業及び維持管理業務O・M事業以外の付帯事業提案

No.	事業者名	Q6 D・B事業と、維持管理業務O・M事業以外の付帯事業の提案が想定される場合	
		内容	導入検討に必要な条件
1		まだ十分な検討はできていません。	
2		特になし	特になし
3			
4		事業規模が大きくなることは受託にとって好ましいですが、詳細は現時点で不明です。 汚泥や遊休地を利活用するのが一般的です。	現時点では想定できません。
5		災害時、緊急対応時における対応及び対処。 クレームについての住民対応及び対処。	災害時・緊急時及びクレーム対応等、対処の所在を明白にする必要がある。
6			
7		・再構築対象外の設備（B系水処理、汚泥、MP、各ポンプ場、風力、管路）の管理	・付帯事業が追加となる場合は、見積依頼等を実施頂き適切な価格で発注を行って頂きたく存じます。
8			
9		・ダウンサイジング型の設備提案による余地を活用した太陽光発電（PPA） ・消化設備導入による創エネ、地域バイオマス受け入れ、汚泥処分量削減効果のプロ	・電気購入単価（PPA）のご検討 ・消化導入検討（塩濃度が高い為、消化阻害あれば適用が難しくなります）
10			
11		省エネ設備及び再エネ設備を活用してランニングコストの低減を図る。	
12			
13		特殊項目の分析の委託	目的、項目、頻度、数量、報告下限値、分析方法、採取箇所、実施時期
14			
15		処理施設の施工にあたり、既存をいかにしながらの施工になるとおもわれるが、十分な対策ができるのかと思う。又、処理するにあたり、いろいろな薬品を使い放水していると思い	各業務を関連企業に発注となると思いますが、公共工事の用な支払い形態になるのか。又、施工にあたり、工事箇所の十分な調査が行えるように願いたい。
16		特にございませぬ。	
17		付帯事業は想定しておりませぬ。	
18			
19		現地点では不明	
20		特にありませぬ	-
21		現状、付帯事業として想定している事業はありませぬ。	上記ご回答のため特にありませぬ。
22			
23		下水利用事業者への排水水質管理	事業契約に合わせて下水利用契約事業者にたいして定期的な水質検査を行うなどの契約形態の更新が必要。

社名ピンク：Q2 で本事業への参加意向あり